

スプレー缶などを正しく出してください

市はスプレー缶、ガスボンベ、ライターなどの無料収集を行っています。なかには不燃ごみに混ざって排出され、スプレー缶などが原因と思われる火災や爆発事故が発生しています。作業員が負傷したり設備が損傷したりするとごみ処理が滞るため、安定的な収集運搬作業や処理が行えなくなる可能性があります。

中身の入ったスプレー缶など

は穴を開けずに、下記窓口までお持ちください。また、中身の無いものは不燃ごみの収集日に透明または半透明の袋に危険の㊟と記載して出してください。火災や爆発事故を防ぐこととなりますので、正しい分別排出をお願いします。

☎環境課ごみ減量推進係
☎042-493-3750



市役所来庁者駐車場にヘリサインを整備しました

市役所来庁者駐車場に新たにヘリサインを整備しました。ヘリサインは災害時に被災地上空から被災状況を確認するとともに、地上の救助機関部隊や災害対策本部と連携し、迅速・効率的なヘリコプターによる応急対策活動を行うための応援航空部隊の道しるべとして、重要な役割を果たします。また、避難所など災害対策上で重要な施設を上空から即時に特定することもでき、防災機能の向上につながります。



駐車場に整備されたヘリサイン

☎総務課総務係 ☎042-497-1819

第2回木造住宅無料耐震相談会

大好評につき、第2回木造住宅無料耐震相談会を開催します。建築士の方が、個別に木造住宅の耐震に関するご相談に応じます。相談会は事前予約制です。定員に達し次第、予約受付を終了します。☎市内に昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築された木造住宅を所有している方。先着6組(各枠2組) ①2月6日(木)②午後1時～1時50分③午後2時～2時50分④午後3時～3時50分、1組50分。☎市役所本庁舎 ☎1月10日～1月24日に直接窓口または電話で都市計画課都市計画係 ☎042-497-2093へ

雑木林の維持管理作業

カタクリなど早春に咲く植物のため、落ち葉掃きを中心に冬の雑木林(都・市有林)の維持管理作業を行います。作業時間は原則いずれも午前9時～午後2時30分ごろです(集合時間＝午前8時45分)。

☎場下表のとおり

☎昼食、飲み物、作業手袋、お持ちの方はヘルメット
☎清瀬の自然を守る会 ☎042-492-0710
※小雨時など開催するか判断しかなる場合は当日午前7時30分～8時に上記へご連絡ください。

日程	集合場所	作業場所
1月14日(木) (雨天時は15日(木))	台田市有林上広場	台田市有林(どろんこ保育園北側)
1月21日(木) (雨天時は22日(木))	中里緑地保全地域C地区横通路 (清瀬せせらぎ公園沿い)	中里緑地保全地域C地区
1月28日(木) (雨天時は29日(木))	空堀川河川通路広場	中里緑地保全地域A地区
2月1日(土) (雨天時は中止)	松山緑地プラタナス広場 (一般の方は、松山地域市民センター)	松山緑地保全地域

※作業場所については、変更となる可能性があります。
※2月1日(土)は雑木林ボランティアとしての一般の方を対象とした活動のため12時頃までです。



東京都大気汚染医療券(気管支ぜん息)の更新を忘れずに！！

都内に1年(3歳未満は6か月)以上在住の18歳未満で、気管支ぜん息等にかかっている方に対し、医療費の助成を行っています。

現在、この医療券をお持ちの方が有効期間満了後も引き続き助成を受けるためには、有効期間満了の1カ月前を目安に下記窓口で更新手続きが必要です。

なお、ピンク色の医療券をお持ちの方は有効期間満了までに更新手続きを行わないと資格喪失となり、再度認定を受けられなくなりますので、ご注意下さい。

☎健康推進課健康推進係 ☎042-497-2075



詳しくはこちら

消費生活相談の現場から

【事例】街で無料のフェイシャルエステを体験してみないかと声をかけられ、店舗に連れて行かれた。体験後、店員から同店で販売する化粧品を自宅で使用し、後日アンケートに答えると謝礼として千円がもらえると言われ、再び来店した。

アンケートに回答後「脱毛エステ店を開店することになった。口コミを投稿するモニターになれば無料で施術が受けられる。クレジット契約をしてもらうが、分割金は当社が負担するので実質無料となる」と説明された。「無料」という言葉に惹かれ、その場で100万円の脱毛エステと信販会社の契約書にサインをした。その際に「信販会社から確認の電話があるが、無料モニターのことは言わないように」と口止めされた。その後、引き落とし日を過ぎてても分割金が入金されず、事業者とも連絡が取れなくなってしまった。

【アドバイス】美容に関心を持ち始める10代・20代の若者にとって脱毛エステは大きな関心事の一つで、相談件数も多く契

脱毛エステの実質無料のセールストークにご注意！



約金額も高額となっています。事例の悪質業者は若者の社会経験の乏しさにつけ込み、「無料」という甘い言葉で誘い、高額なエステ契約を結ばせたとえ、クレジット契約までさせています。冷静に考えると本当に無料であればクレジット契約を結ぶ必要はありません。また、契約内容に問題がないのであれば無料モニターについての口止めも不要なはずで、どんなにいい話を持ち掛けられても、鵜呑みにせず、その場で契約しないようにしましょう。この事例では信販会社に対し、事業者の違法な勧誘方法を情報提供するとともに契約書面の記載内容の不備を理由にクーリング・オフ申し出を行いました。事業者との契約で不安に思うことがある時は、一人で悩まず消費生活センターにご相談ください。

☎消費生活センター
☎042-495-6212(相談専用)
※つながらない場合は
☎042-495-6211へ



2025年は清瀬市市制施行55周年 第1回 ちょっと昔の清瀬のはなし

令和7年10月1日、清瀬市は市制施行55周年を迎えます。「清瀬市」になるまで、清瀬という地域はどのような歴史をたどったのでしょうか。

江戸時代、清瀬という地名はなく、独立した6つの村(上清戸・中清戸・下清戸・清戸下宿・中里・野塩)でした。人々は畑の作物を江戸で売って収入を得ていました。明治22年に村制の施行によって6つの村が1つになり「清瀬村」が誕生します。この頃も村民の大半が農業を営んでおり、大正10年には人口約3千人のうち、約8割の家が農家であったとされます。

昭和初期には村の南西部の雑木林が切り開かれ、結核療養所が次々につくられ、いわゆる病院街が形成されました。しかし、戦後になっても村の大半は畑であり、村民の多くが農業に従事していました。昭和29年、町制が施行され「清瀬町」が誕生すると、第2・3次産業が発達しはじめます。昭和30年代以



清瀬市市制施行55周年について詳しくはこちら



昭和45年10月1日清瀬市役所開庁式



昭和45年10月1日市制祝賀式典

降の集合住宅の造成により人口は増加し、市制施行直前の人口は約5万人に達しました。この時期、商工業などの都市的な職業に従事する人口は約94%を占めています。人口や施設的な要件を満たした結果、昭和45年10月1日に市制が施行され「清瀬市」が誕生しました。こうして、都市近郊農村であった清瀬の姿は移り変わり、現在では都心部のベッドタウンや医療のまちとして発展しています。